



## 巖立と小坂の滝めぐり

「岐阜署」飛騨川の支流小坂川を遡るとは落合地区で濁河川と大洞川が分岐し、濁河川を遡ると左岸より樫谷が合流します。ここに柱状節理（柱状節理とは溶岩が固まって冷えるときに、溶岩の体積が縮むために出来た規則的な割れ目（専門的にいうと節理）のこと）が目立つ、高さ七二メートル、幅一二〇メートルの巨大な岩壁で県指定の天然記念物でもある「巖立」があります。

御嶽は「古期御嶽（火山）」と「新期御嶽（火山）」と大きな火山活動が二回あり、巖立は約八万年前から約五万年間続いた新期御嶽の摩利支天火山の活動により賽の河原より兵衛谷上流シン谷から濁河川へ流出した草木谷噴出物です。溶岩流は山頂からその末端は落合地区下島温泉まで到達し、その距離は約一七キロメートルに及んでいます。

題には小坂川発電所があり、導水管のトンネル工事の際、炭化木片が発見され、

名古屋大学で年代測定を行った結果、溶岩流の年代が、約五万四千年前と判明しました。

巖の対岸にある「がんだて公園」には展望台や売店などが整備され、ここから眺める巖立の造形美はまさに圧巻の一言です。とくに春の新緑、秋の紅葉がすばらしく、自然のパワーと色とりどりの山々が深い感動を与えてくれます。

走、下呂市小坂町には、落差5メートル以上の滝が二〇〇カ所以上あり、日本一の多い町として知られており、滝の大部分は国有林に位置しています。

平成二十年度には全国に自慢できる観光資源として「岐阜の宝もの」の一号として「小坂滝めぐり」が認定されました。

### 滝ぐりは「NPO法人 隣小坂 200滝」がガイドを行っており、遊歩道を歩いて滝を見物する初級コースから沢を登って滝までたどり着く上級コースがあり、滝めぐりの参加者たちからは、有意義な一日が過ごせた等評判がよく、年々滝めぐりの参加者も増えてきています。

選した「がんだて公園」には同法人の案内所があり、シーズン中には毎日役員が勤務しております。

● 車でお越しの場合  
 ・国道四一号线↓飛騨小坂入口↓一般道約二〇分  
 ○公共機関でお越しの場合

・JR高山線小坂駅下車↓濃飛バス湯屋線一五分、ひめしやがの湯下車↓徒歩二〇分

### ◆ホームページ

○飛騨小坂200滝  
<http://www.3ocn.ne.jp/osk200tk/>  
 ○小坂の滝めぐり  
<http://www.osaka-taki.com/>



御嶽山の大噴火によって出来た壮大な巖立岩



日本の滝100選「根尾の滝」



根尾の滝への途中の「あまどり岩」



濁滝